



京都からアジアに進出し活躍する企業と、アジアビジネス相談デスクアドバイザーからアジア各国を紹介します。

今回は・・・

中国進出企業
REPORT

有限会社奥村企画
専務取締役 奥村 謙介



所在地：京都市上京区智恵光院通丸太町上(西院町) 747-27
TEL：075-813-3676

事業内容：和装製品・洋装製品・雑貨類の製造販売

中国現地法人 上海心花貿易有限公司
従業員 4 名
登録資本金 50 万人民币
設立 2008 年
繊維製品、雑貨、工芸品類の製造・販売・輸出入業務

製造拠点としての中国進出

中国との関係は、10 年程前からです。わが社は繊維製品、雑貨、工芸品を販売しており、商品の仕入や自社ブランドの製品加工を中国で行っていました。国内での製造・商品の調達では価格の限界があり、賃金や原材料が安価である中国で製造・商品調達を行うことにしました。中国には協力会社もあり、順調に工場運営を行うことが出来ました。

しかしながら、2 年前頃から中国華東地区は人件費・材料費は高騰し、中国での生産のメリットが薄れつつありました。また、日本の景気悪化から繊維製品・雑貨品の日本国内需要が低下しました。そして、この状況は続くと思えば工場を断腸の思いで閉鎖しました。

市場としての中国

中国は、13 億人の人口をもち、経済成長率が約 10% で推移している大きな市場としての魅力を持っています。そこで今後は、商品売り込む先として中国に進出することを決意しました。

現在は、自社製品だけでなく、京都産品の中国販売代理店として、京都企業の中国での販路開拓の支援をしています。今までに、いくつもの物産展に出展し、中国人の一般客の反応から市場を探り、また展示会での中国人バイヤーとの商談で販路を開拓してきました。

商談していく中で強く感じることは、中国人は日本の伝統工芸品そのものではなく、脈々と受け継がれてきた日本の技術に大変興味があり、そこに需要があるということです。

中国では文化大革命で途切れた技術が日本、とりわけ京都には沢山残っています。その技術を活用して、中国向けに商品をカスタマイズしてこそ中国市場で受け入れられるのです。

今後、中国バイヤーと京都企業・職人との橋渡しを行いながら、京都文化の発信もしていきたいと考えています。



上海伊勢丹主催のジャパンフェアが開催されている梅龍鎮広場

上海伊勢丹での京都物産展



京都府上海ビジネスサポートセンター
首席代表 藤原 二郎

発展する内陸都市、成都

中国でも最も熱い注目が集まる都市、四川省成都。中国は全国至る所で開発が進むが、ここの開発スピードは一段と速いと実感します。ここをユーラシア大陸への物流の拠点にする構想が進んでおり、未だ日系企業の進出は少ないものの、今

後の発展は目を見張るものに成りそうです。その都心の繁華街に成都伊勢丹が、地元の高級百貨店として業績を伸ばしています。そして、このたび成都伊勢丹の7階に「京都コレクション」が開設される運びとなりました。去る5月17日にプレオープン、6月21日にはグランドオープンしました。ここでは、多数の京都産品が販売されます。初めて、成長する内陸の国際都市、成都での京都物産販売となり、今後展開を占う重要なイベントです。



アジアビジネス相談デスク 専門アドバイザーによる個別相談室です。お気軽にご利用ください。

お申込み・お問合せ 京都商工会議所 アジアビジネス相談デスク(産業振興部内)

TEL 075-212-6442 URL://www.kyo.or.jp/management/asiabusiness.html